

## 保護者からのご意見・ご提案

### <学習面>

○タブレットがあるのに教科書、ワーク等で荷物が重い。子どもが背負うと身長が伸びなくなるのでは？と思うほど重い。

学校では個人ロッカーと机に教科書類を保管することができるようになっています。家庭学習に必要な教科書のみを持ち帰るように声をかけていますが、実際に持ち帰る用具については、個人の判断にまかせています。

○テスト範囲、内容を更に詳しく印刷してプリントにまとめてほしいです。

テスト出題範囲については、生徒が学習ポイントを理解しやすいように丁寧に記述していきます。

○実技教科の単元テストの回数が多すぎると思います。主要教科と合わせるとほぼ毎週あり、逆にメリハリがなくなり、やる気の保持が難しいです。

今年度より15分の技能教科の単元テストを学期に2回、年5回実施しています。5教科の単元テストとの兼ね合いを考え、改善に向けて生徒の声も参考にしながら検討していきます。

○テストが出来なかった生徒は授業後など居残りをして補習をしていただけると助かります。

各学年、必要に応じて希望者を対象に学習会を行っています。今後も生徒の要望に応える形で学習会を設定していきます。

○期末テスト英語についてです。確かに範囲には英語の初歩的な事に注意、とは書かれていましたが、W（大文字）を wと書いて-1点となりました。ただ、授業中やテスト前の単元テスト、提出物で一度も指摘されたことはありません。-1点にするなら期末前に提出物を見ている先生が生徒に教えるべきではないでしょうか。

採点基準については、生徒が納得できるように改善していきます。また、減点対象となるものについては、テストの前に周知するようにし、指導した内容について評価するように心がけます。

○レビューシートについて

レビューはテスト前の勉強以上に大切だと思います。これが主体性や自己調整力の「評価対象」にされるなら、まだスイッチのついていない生徒が蚊帳の外になるのではと危惧しております。ボトムアップの取り組みを懇願します。レビューシートでいうなら書き方をご指導下さい。

レビューシートは、やらされる学習から主体的な学習への転換を図る目的があります。内容については各学年の学習担当から説明をしていますが、今後も取り組み方について丁寧に説明をしていきます。

○自主学習を増やす。

夏休みの時、自主学習など先生も大変かもしれないけど見ていただきたいです。

全員が同じ課題に取り組むよりも、一人一人が自分に合った学習をすることは意義あることです。長期休業に入る前には、懇談会や通知表を通して一人一人に必要な学習内容を具体的に示し、自分で考えて学習に取り組めるように指導していきます。なお、自主学習の取り組み方については、学年の実態に応じて説明をしていきます。

#### <生活面>

○スーパーカールビズの開始時期をもっと早くしてほしい。

気候に合わせて、実施時期を調節できるようにするなど、弾力的な運用に努めていきます。

#### <部活動>

○部活動をできる時間（日にち）が少ない。

本年度より、『平日は三日間、最大90分の活動、土曜日は月2回まで、日曜日の活動はなし』と市の統一事項となっております。本校では、今後も時間を有効に活用しながら、部活動を通して体力の向上や情操の育成・豊かな人間性や「生きる力」の育成を目指します。

#### <進路について>

○2年生で職場体験を行っているので、もう少し幅を広げて3年生においても深めていけたらいいと思います。なるべく、中学生のうちに将来の夢や進む道を見つけられると、学習においても力を注げるかと思えます。

進路に関する学習は、学活の時間に1・2年生は7時間程度、3年生では10時間程度を割り当てて学習します。職場体験学習（本年度は職場訪問学習）後は、上級学校調べや進路実現のための計画づくりを行いながら、進路希望のイメージができるようにします。3年生では、進路に関する情報集めや進路決定の方法について考えながら、進路決定にむけて学習していきます。

#### <その他>

○タブレットを活用し、ペーパーレス化を図ってください。

教科ごとのプリント、予定表、お知らせ、広告など、膨大なプリント類に親子ともども途方に暮れています。タブレットも家に置いてあるだけで宝の持ち腐れになってしまっています。LTノートもタブレットで取り組むなど、日常的に使ってけるとよいと思います。

学校からの情報のペーパーレス化を進めます。行事案内や学年通信、預り金のお知らせ、学習予定表、PTA 総会や進路関係等の資料など、メール配信とタブレット端末を併用しながら始めていきます。

○いつまで子供たちにマスクをつけさせるのでしょうか？

- ・登下校だけでなく、授業中もマスクは外してほしい。免疫力が下がるし、脳に酸素が行かないので、ご検討をお願いいたします。
- ・運動中、屋外でも着用はやめさせてほしいです。給食時の黙食もそろそろやめてはどうでしょうか。
- ・子どもがマスクを外すことにリスクはありませんし、人の表情を読み取れなくなりそうで心配です。大人の都合でなく、子供たちの事を真剣に考えていただきたいです。

厚生労働省からコロナ感染症対策のガイドラインに合わせて対応しているところです。屋外（2 m 以上の距離）や登下校など、ほとんど会話をしない状況ではマスクは不要と定めています。マスクが不必要と思われる場面では学校でも積極的に声をかけていきます。ご家庭・地域での働きかけもお願いします。

○先日配付された学校だより第 45 号に示された教育目標を拝見しました。大変高い目標を設定されていると感じました。教育者として大切なことは、このような教育理念を持つことに加え、生徒の本当の姿を常に観察し続け、その対応した適切な教育、指導を行うことであると考えています。しかしながら御校の現状は、私が生徒を観察するかぎり、後者が弱いのではないかと思います。例をあげますと、自転車通学許可申請と共に御校あて提出しました自転車通学時のマナーに関しては、当時よりさらに悪化しています。適切な指導が行われているとは考えられません。以前はご注意申し上げた際、適切に対応くださり、状況が改善しましたが、現在では先に記しました通りです。社会ルールを守る、人に迷惑をかけないというのは、まず始めに行うべき指導であると考えます。適切な指導をお願いします。

自転車通学者に対して、また全生徒に対して学級担任や安全主任等から、社会の一員としてルールを守ることの大切さについて話をしています。その一方で、登下校時に教員と PTA 運営委員が通学の様子を確認したり声かけをしたりする立哨活動にも取り組んでいます。今後も引き続き、社会の一員としての行動がとれるようねばり強く伝え続けていきます。

○中学について「学校が楽しい、先生がおもしろかったり、やさしいよ。すごく良い学校」と子どもから聞いています。中 3 になると「授業が分かりやすい塾でわからなかった所がすぐわかってできるようになる」と言うようになり、授業を大切にしている様子を見て、親として安心でき嬉しく思います。授業も教育活動も学校も“そこにいる人”がつくりあげており、改めて良い先生、友人に恵まれていることに感謝の思いです。説明会等では、学年主任の先生があたたかく、力強く励まして下さっており、心に響くお言葉をいただいています。

授業以外の場面でも、生徒が安心して登校できるような雰囲気づくりや声かけを心がけています。生徒が、「授業が勝負の場」だと捉えられるよう、教職員はだれもが楽しく積極的に学びたいような準備や学習環境を整えるよう尽力しています。今後も、授業を大切にしつつ、あらゆる場面で生徒の成長を応援する教職員集団でありたいと思います。